

中央地区再編案B

資料2-3



塩船→中央地区施設一体型小中一貫校
約30分(徒歩・約2km)

中央地区施設
一体型小中一貫校

裏宿町→中央地区施設一体型小中一貫校
約45分(徒歩・約3.2km)
約20分(徒歩+公共交通)

【再編案の考え方】

- ・第一小学校、吹上小学校、第一中学校、吹上中学校の規模適正化を図る。
- ・小中一貫教育推進のため、小学校からの進学先の統一を行い、施設一体型小中一貫校を1校とする。

【再編方法】

① 第四小学校の位置に地区内の小・中学校を再編し、施設一体型小中一貫校を設置する。
(2036年までに)

- ・霞台中学校へ進学する第四小学校区を中央地区の中学校区へ変更する。
- ・第一小学校区、第一中学校区の一部（日向和田）を西部の第五小学校区、西中学校区へ変更する。

- ・第一小学校、吹上小学校、第一中学校、吹上中学校の規模適正化を図る。
- ・小中一貫教育推進のため、小学校からの進学先の統一を行い、施設一体型小中一貫校を校とする。

【再編方法】

① 第四小学校の位置に地区内の小・中学校を再編し、施設一体型小中一貫校を設置する。
(2036年までに)

- ・ 霞台中学校へ進学する第四小学校区を中央地区の中学校区へ変更する。
- ・ 第一小学校区、第一中学校区の一部（日向和田）を西部の第五小学校区、西中学校区へ変更する。

- ① 第四小学校の位置に地区内の小・中学校を再編し、施設一体型小中一貫校を設置する。
(2036年までに)
- ・霞台中学校へ進学する第四小学校区を中央地区の中中学校区へ変更する。
 - ・第一小学校区、第一中学校区の一部(日向和田)を西部の第五小学校区、西中学校区へ変更する。

【再編後の学校規模】		
	2059年	
中央地区 施設一体型 小中一貫校	児童数	497
	学級数	18
	生徒数	274
	学級数	12

		2059年
中央地区 施設一体型 小中一貫校	児童数	497
	学級数	18
	生徒数	274
	学級数	12

項目	適正規模	適正配置	小中一貫教育
効果	◎	○	◎
内容	2059年まで望ましい規模を維持できる	一部公共交通を活用するが、30分程度での通学が可能となる。	施設一体型小中一貫校となる。

項目	適正規模	適正配置	小中一貫教育
効果	◎	○	◎
内容	2059年まで望ましい規模を維持できる	一部公共交通を活用するが、30分程度での通学が可能となる。	施設一体型小中一貫校となる。

※色付きゾーンは小学校区を、黒枠は中学校区を表す。